

2023年度：札幌禎心会病院 新人看護師教育年間計画

★集合研修 ◆法人・病院研修 赤字は公開研修

▲部署教育：技術チェックリストを評価指標とし、指導者のサポートのもと技術獲得していきます

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
到達目標		1. 社会人としての基本姿勢・態度を理解する 2. 病院および看護部理念・機能を理解し行動する 3. 安全安楽な日常生活援助技術を行う 4. 施設内における医療安全体制を理解する 5. プライバシーを保護して医療情報や記録物を扱う 6. 業務上の報告・連絡・相談を適切に行う	1. 根拠に基づいた看護ケアの重要性を理解する 2. 看護活動が看護職の倫理綱領の下で実施されている事を理解する 3. 災害発生時に具体的な行動をとることができる 4. 規定に沿って適切に医療機器・器具を扱う 5. 業務の手順・基準に沿って実施する 6. 夜勤業務の流れを理解する	1. 看護は患者中心のサービスであることを認識し行動する 2. 複数の患者を担当し、指導のもと安全な看護を実践する 3. 複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する	1. 助言を得ながら安全な看護を実践する 2. 患者急変時、チームの一員としての役割を理解し、指示を受け行動する 3. 他部署を見学し、治療・看護への理解を深める	1. 助言を得てケアの受け手や状況のニーズを捉える 2. 関係者と情報共有ができる 3. 倫理的視点に基づいて、ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る 4. 1年間の自己の学びと看護を振り返り、次年度へ向けて自己の課題を明確にする	1. 自己の行動・出来事を振り返り、課題を導き出すことができる 2. ケアの受け手や状況に応じた看護を実践する 3. 看護の展開に必要な関係者を特定し情報交換ができる												
行動の目安		1. 日常生活援助の根拠や注意点を理解し指導を受けながら実践できる 2. 情報システムから患者の情報収集を行える 3. 与薬技術の基礎知識を習得する 4. 日勤業務の流れを理解し指導を受けながら行動できる 5. 指導をうけながら各科の検査説明と確認事項のチェック、検査案内を行う 6. 判断できないことや経験のない処置やケアについて躊躇せずに相談する 7. 看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する	1. 看護計画に沿った実践を指導のもと行う 2. 夜勤業務の流れを理解し指導を受けながら行動する 3. 看護手順に沿った看護技術を習得する 4. 点滴与薬に関する基礎知識を習得し実践する 5. 輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理を行う 6. ヒヤリハット発生時、報告連絡相談を速やかに行う 7. 看護必要度を評価・入力する 8. 主体的に学ぶ姿勢を持ち行動する	1. 患者データベースを聴取し、指導のもと患者情報をアセスメントする 2. 日々の担当患者の看護計画評価・再立案を指導を得て行う 3. ハイリスク薬剤の知識を理解し取扱いができる 4. 部署で頻度が高い検査・処置を積極的に見学し指導を得て実施する 5. 7～8月頃を目安とし日勤業務自立する	1. 受け持ち患者を1名担当し指導のもと看護を展開する 2. カンファレンスに参加し発言することで自らの持つ情報を関係者と共有する 3. 患者急変時、必要物品を用意し、チームの一員として行動する 4. 多重課題・時間切迫状況下で優先度を考え行動する 5. 9～10月頃を目安とし夜勤業務自立する	1. 助言を受け、ケアの受け手に必要な身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から必要な情報収集を行う 2. 助言を受け、ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る 3. 多職種の役割を理解し、自らの持つ情報を提供して関係者と共有する 4. 受け持ち患者への看護実践を振り返り、次年度への課題を明確にする	1. 自立してケアの受け手に必要な情報収集を行い、得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題を捉える 2. ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解した上で関係者と積極的に情報交換ができる 3. 助言を受けて自己の課題を導きだし主体的に学習できる 4. 実践した看護を事例報告としてまとめ、発表できる												
看護職としての基本姿勢	集合研修	★新人看護師入職時研修(9日間) ※別枠参照																	
看護実践	集合研修																		
	部署教育																		
サポート研修	集合研修																		
フィジカルアセスメント研修(札幌医科大学 成松教授)	集合研修	←(2回/月 開催) →																	
1.環境整備	部署教育	▲療養生活調整 ▲ベッドメイキング																	
2.食事援助	部署教育	▲食生活、食事介助、経管栄養、胃管挿入(4～6月) →																	
3.排泄援助	集合研修																		
	部署教育	▲排尿ケアアセスメント(5～7月) →																	
4.活動・休息援助(安全確保含む)	部署教育	▲歩行、移動、移送、体位交換、関節可動域訓練、睡眠の援助、体動・移動に注意が必要な患者の援助(4～6月) →																	
5.清潔・衣生活援助	部署教育	▲清拭、洗髪、入浴介助、部分浴、オムツ交換、衣生活支援、整容(4～6月) →																	
	集合研修	★口腔ケア(希望者) 担当: 歯科衛生士 6/26																	
6.呼吸・循環	集合研修																		
	部署教育	▲酸素吸入療法・ネブライザーの実施(5～6月) →																	
7.創傷管理	集合研修	★褥瘡・スキンケア(※講義:入職時研修に含む、演習:各セクション)																	
		★人工呼吸器管理技術研修10/27																	
8.与薬(安全確保含む)	集合研修	★与薬技術研修1(内服薬投与に関する知識)(※入職時研修に含む)			★与薬技術研修2-2(注射技術) 5/15～17			★与薬技術研修3(シリンジポンプ等) 5/29			★与薬技術研修4(麻薬・向精神薬) 7/3			★与薬技術研修5(輸血) 8/2 AM					
9.救命救急処置	集合研修	◆普通救命講習																	
		★救急救命処置技術研修 8/29																	
10.症状・生体機能管理	部署教育	▲バイタルサイン・観察・身体計測・心電図モニター・検体検査(血液・尿)取扱い(5～7月) →																	
11.苦痛の緩和・安楽確保	部署教育	▲安楽な体位の保持・電法など身体 安楽促進ケア ▲精神安寧を保つための援助(5～7月) →																	
12.感染予防	集合研修	★滅菌物の取り扱い・無菌操作演習(※入職時研修に含む)			★感染防止対策技術研修 担当: ICT 6/26														
安全管理	集合研修	◆医療安全対策・感染防止対策																	
災害・防災管理	集合研修	★看護管理研修(5/9)																	
業務管理	部署教育	◆就業規則、委託業務等 ◆個人情報保護、院内電子システム ★看護手順・基準、各種マニュアル																	
情報管理	集合研修	★看護記録の法的責任と看護記録基準(入職時研修に含む)																	

★多重課題研修 9/14

★地域包括ケアシステム研修 11/24

★1年目研修 3月

★1年6か月目研修 9月

▲看護過程①(情報収集とアセスメント)

▲看護過程②(受け持ち看護師の役割)

※ 新人看護職員入職時研修(4月5日～18日 9日間)

目的: 看護職員として必要な基本的な知識・技術態度を習得し臨床現場へスムーズに適応することができる

1日目 目標 1. 当院の看護職員として必要な基本姿勢と態度について理解できる
2. 「看護者の倫理綱領」を行動規範とする重要性を理解することができる
3. 当院の新人看護職員年間教育計画について理解する
内容 看護部理念 看護職員として必要な基本姿勢と態度、看護部の教育クリニカルラー 新人看護職員年間教育計画 看護職の倫理綱領 リフレクション研修

2日目 目標 1. 電子カルテからケア提供に必要な情報収集を行うことができる
2. 看護職員として必要な知識・技術・態度について理解する
内容 電子カルテ演習 看護記録の法的責任と記録基準 リフレクション研修 褥瘡

3日目 目標 1. 清潔操作を理解し、滅菌物の取扱いを正確に行える
2. 看護師として働く上で必要な基本的コミュニケーションを理解することができる
内容 滅菌物の取り扱い 接遇演習

4日目 目標 1. 喀痰吸引に必要な知識・技術を習得する
2. 尿管留置カテーテルの目的・適応及び挿入方法と挿入中の管理を理解する
3. 新人看護師として体験しやすい出来事を乗り越えていくための「心のエネルギー」の保ち方や支援の受け方を理解する
内容 留置カテーテル 呼吸ケア リフレクション研修 電子カルテ演習

5日目 看護必要度 シャドーイング研修(各部署) 行動制限低減に向けた看護 看護補助者との連携

6日目 目標 1. 看護師の与薬に関する法的解釈について理解出来る
2. 内服薬の与薬についての基本的知識及び手順が習得できる
3. 輸液管理についての基本的知識及び手順が習得できる
4. 三方活栓の使用法、輸液の滴下数の計算方法が理解できる
内容 薬に関する法的解釈と安全な与薬 内服薬・輸液管理の実際

7日目 目標 1. 演習での学びを統合し、臨床看護の理解を深める
内容 シャドーイング研修(各部署) 決意表明

8日目 目標 1. 皮下・筋肉・静脈内注射(末梢ルート確保)の実施方法を理解する
2. 演習での学びを統合し、臨床看護の理解を深める
内容 皮下注射、筋肉注射、末梢ルート確保の演習 シャドーイング研修(各部署)

★救命救急処置技術強化研修 6月